子どもたちにとって なぜ自然体験が必要なのか

自然から学んだ子どもたちの今

令和７年

11月16日(日)

10:00～12:00

この写真の子どもたち、どんなふうに育っていくと思いますか？
講演で、その答えをお話しします。

講師 佐藤 陽平

大分県臼杵市出身。学生時代は探検部部長を歴任し世界を放浪。大手企業を経て自然学校へ参画。のべ5,000人以上の子ども達に自然体験キャンプを実践してきた体験学習の専門家。「教育は家庭から」と考え、一般社団法人ひとねるアカデミーを設立。最先端の脳科学と体験学習を組み合わせ、子どもの個性を生かし、お手伝いなど日々の生活を教材に「どんな時代になってもたくましく生き抜く チカラを養う」家庭体験教育を提唱。親や教育者、自然体験指導者が「こそだて」を学べる仕組みを開発し実践。自治体アドバイザー、企業の人財育成コンサルにも携わる。

場所	筑波大学 春日講堂
参加費	3,300円/家族
申込み	ご予約はこちらから（hacomono）

※ こそだての家の会員、非会員の方に関わらず
大人も子どもも皆さんご参加いただけます.
※ 当日、現金でのご参加も可能です.

問合せ

各種SNSからメッセージください

LINE　HP　Instagram　Facebook

主催 一般社団法人 こそだての家

後援： つくば市教育委員会・つくばみらい市教育委員会

09:30 受付

10:00 講演会

11:00 休憩

11:15 クロストーク

12:00 おしまい

こそだての家とは？

こそだての家 KOSODATE NO IE

子どもの個性を伸ばし、己を輝かせ、生き抜く力を育む。

茨城県つくば市で活動するアフタースクールです。
自然の中での遊び暮らしを通して、豊富な体験と生き方に繋がる学びをもとに育ち合い、生き抜く力を育みます。

感性を大切に扱います

個性を伸ばし、己を輝かせるには、自分の「らしさ」に気づく必要があります。出会いや体験を通して「これがいい・好き」といった感性を大切に扱い、「らしさ」を見つけていきます。

様々な子どもと大人で一緒に「こそだて」

「こそだて」の“こ”が、ひらがなのは“個”と“己”の意味を込めて。
「らしさ」を解放する「個」そだて。
「こそだての村」づくりを通して
子どもも大人も楽しく「己」そだて。

自然の中での遊び暮らし

自然の中で遊ぶ事で生命力や五感力を磨きます！楽しく暮らす為に人の気持ちに触れる機会があります。活動の最後にテーマを決めて振り返りや会議をします。遊び暮らし中での体験と生き方に繋がる学びをもとに育ち合い、生き抜く力を育みます。
事例：有り難い、伝えると伝わるの違い、自立と協力 etc

素敵な志と様々なノウハウ・キャラクター・ストーリーを持った大人たちが想いで繋がり子ども達と遊びます！

山蔦 幸太郎	高野 年啓	白石 満帆	海後りゅうせい	原野 君枝	柳岡 寿行	今井 健太	岩本 孝司
柏乗馬クラブ	瞑想・ヨガインストラクター	NPO法人 小田地域まちづくり推進機構	常陸太田市 地域循環プロジェクトメンバー	看護師	柳工務店	フィジカルコーチ 理学療法士	事業家